

## 形成外科 初期研修プログラム

【研修責任者】 福原 定子

### 【1ヶ月目の目標】

1. 形成外科で扱う疾患を列挙し、簡潔に説明することができる。
2. 形成外科で使う器具について述べることができる。
3. 基本手技についての知識と手技の習得
  - a) 創傷処置の基本として、異物除去、局所麻酔をすることができる。また、破傷風の予防処を適切に行うことができる。
  - b) 包帯法、ガーゼ交換：創の状態によって外用薬や創傷被服剤などを選択することができる。また、軽度熱傷創の処置が行える。
  - c) 縫合法の基本(真皮縫合を含む)についての知識を持ち、縫合が適切にできる。また、部位毎に適切な縫合糸を選択できる。
  - d) 抜糸とその後の処置、後療法についての知識を持ち、実施することができる。
  - e) ケロイド、肥厚性瘢痕の予防と保存的治療について述べることができる。
  - f) 簡単な植皮法について述べることができる。

### 【3ヶ月目の目標】

1. 唇裂口蓋裂や手指、足趾などの先天異常の手術時期を述べることができる。
2. 顔面、手足の外傷の縫合、応急処置ができる。
3. 軽度熱傷の初期治療ができる。
4. 皮膚腫瘍の病歴や正常について記録でき、その切除、再建について述べるができる。
5. 肥厚性瘢痕およびケロイドの発生、経過について理解し、その鑑別について述べることができる。
6. 外傷や手術後の組織欠損に再建について、その方法が言える